

# 令和2年度琴清苑事業報告・決算報告(抜粋)

## 総括

令和2年度は琴清苑の新築建て替えと、新型コロナウイルス感染症の流行への対応を行った1年でありました。琴清苑の新築建て替え工事が、今年度から具体的に始まり完成しました。この1年の工事に関する計画の進行に多くの労力が注がれましたが、年度末の1月には工事が終了し、引き渡しが行われました。関係された行政や、地域住民の方々には感謝申し上げます。次年度は新しい施設で利用者、職員一同新たな気持ちで事業を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症につきましては運営面、収入面で施設運営に大きな影響を与えました。度重なる緊急事態宣言発令により、入所制限や面会制限が実施され、稼働率の低下とそれに伴う収入の減少が起き、苦しい運営になってしまいました。具体的には稼働率が92.93%と施設開設以来最低の数字が出てしまいました。前年度の93.97%より1%低くなってしまいました。原因としては新規施設へ経済的理由により移動できない利用者が5名転居され稼働率が低迷する事態となりました。コロナウイルス感染症対策として、入所後に2人部屋を個室扱いにして一定期間の観察期間を経て多床室に移動することにより、施設内へにコロナウイルス侵入予防対策を徹底して行いました。施設入所期間が延びることによりさらに稼働率が低迷しました。次年度からは個室でのケアになる為、計画的な入所を進め稼働率を回復してまいります。ショートステイにつきましてもコロナウイルス感染症対応で4月に受け入れをしてから年間を通じての利用がなく、6.39%と非常に少ない利用率となりました。

利用者の生活上にストレス、利用者家族のストレス、職員の苦勞等、多くの問題が引き続いております。予防接種の進捗状況を見ながら解決してまいります。

新しい施設への移転の為に業務内容の変更を行う事につきましては、最終第4半期にどうか新しい業務内容への変更を始め、次年度以降へ引き継ぐことが出来ました。

次年度からは収支の健全化と運営が軌道に乗るように努力してまいります。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和3年3月31日
資産・負債の内訳		琴清苑
資産の部		***
1. 流動資産		***
	流動資産合計	878,699,251
2. 固定資産		***
	固定資産合計	1,785,972,453
	資産合計	2,664,671,704
負債の部		***
1. 流動負債		***
	流動負債合計	730,855,868
2. 固定負債		***
	固定負債合計	465,655,308
	負債合計	1,196,511,176
	差引純資産	1,468,160,528

拠点区分貸借対照表			令和3年3月31日
			琴清苑会計
		借方	貸方
	流動資産	878,699,251	
	固定資産	1,785,972,453	
	資産の部合計	2,664,671,704	
	流動負債		730,855,868
	固定負債		465,655,308
	負債の部合計		1,196,511,176
	基本金		210,550,201
	国庫補助金等特別積立金		901,083,168
	その他の積立金等		110,701,270
	次期繰越活動収支差額		245,825,889
	純財産の部		1,468,160,528
	負債・純財産の部合計		2,664,671,704

拠点区分資金収支計算書			令和3年3月31日
(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日			
勘定科目		琴清苑会計	
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計	463,730,264
		事業活動支出計	428,083,655
		事業活動資金収支差額 ( - )	35,646,609
	施設整備 その他活動	施設整備等収入計	1,160,726,100
		施設整備等支出計	1,478,064,676
		施設整備等資金収支差額 ( - )	-317,338,576
	予備費	その他の活動収入計	385,308,990
		その他の活動支出計	40,098,612
		その他の活動資金収支差額 ( - )	345,210,378
		予備費 ( )	0
	当期資金収支差額合計 = + + -	63,518,411	
	前期末支払資金残高	99,849,096	
	当期末支払資金残高 ( + )	163,367,507	

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。